

関西言語学会 第48回大会プログラム

2023年 6 月 10 日 (土) ・ 11 日 (日)
Zoomによるオンライン開催

関西言語学会事務局

<https://kls-linguist.com/>

582-8582 柏原市旭ヶ丘 4-698-1

大阪教育大学 英語教育部門

スケジュール

6月10日（土）	10:00-12:00	特別ワークショップ	A会場
	13:00	開会の辞	A会場
	13:10-15:20	研究発表 I	A会場・B会場
	15:25-15:40	総会	A会場
	15:45-17:15	招待講演	A会場

6月11日（日）	10:30-12:40	研究発表 II	A会場・B会場
	13:30-16:30	シンポジウム	A会場
	16:30	閉会の辞	A会場

□ 会場について

両会場ともZoom内に設けます。

A会場とB会場は、同一のURLの別々のブレイクアウトルームになっています。

参加者はどちらのブレイクアウトルームにでも自由に入室できます。

□ 大会参加について

Zoom情報は学会ウェブサイトに別途掲載の方法で会費ないし大会参加費を支払われた方にのみお送りします。ZoomのURLやミーティングIDおよびパスコードをほかの人に教えないでください。会費や大会参加費の振込期限を過ぎてから納入された方には返金はできませんが、下記のとおり録画をご覧くださいので、ご了承ください。

□ 録画について

特別ワークショップ、研究発表、およびシンポジウムは、発表者の許可が得られた場合に限りウェブサイトに掲載されます。会費や大会参加費を納入された方のみ、大会後1か月間、録画の閲覧が可能です。閲覧のために必要なパスワードは会費や大会参加費をお支払い済みの方のみ、大会終了後にお送りします。招待講演の録画は行わない旨をプログラムに記載しておりましたが、録画を行い、かつ、パスワードなしでの一般公開とさせていただくことになりましたので、訂正させていただきます。いずれの録画もダウンロードすることはできません。

□ スプレッドシートについて

質問・コメント用スプレッドシートを用意しましたのでご利用ください。スプレッドシートとは、URLを知っていれば誰でも閲覧したり記入したりすることができるウェブサイト

上のエクセルシートのようなものです。これを表として使いますのでマス目に文字を入力してください。スプレッドシートは大会終了後、記入は1週間、閲覧は2週間、可能です。招待講演およびワークショップ用のスプレッドシートはありません。

□ 参加者交流の場の提供について

プログラム終了後も参加者の相互交流の場を以下のように提供しますので、ご利用ください。

1日目：招待講演終了後、午後7時まで

2日目：大会終了後、午後6時まで

両日ともA会場およびB会場を利用します。

□ 書籍展示・販売

大会開催にともない、オンラインで書籍の展示・販売を行っています。詳しくは学会ウェブサイトをご覧ください。 <https://kls-linguist.com/>

第 48 回大会プログラム

第 1 日 : 6 月 10 日 (土)

特別ワークショップ 10:00-12:00

【A 会場】

発話の非流暢性への学際的アプローチ

代表者 : 定延 利之 (京都大学)

導入

定延 利之

記述言語学の立場から

定延 利之

コーパス言語学の立場から

丸山 岳彦 (専修大学)

会話分析の立場から

遠藤 智子 (東京大学)

言語教育の立場から

船橋 瑞貴 (日本大学)

言語障害の立場から

林 良子 (神戸大学)

音声合成の立場から

モクタリ 明子 (富山県立大学)

分野の共働で見えてきたこと

定延 利之・丸山 岳彦・遠藤 智子・

船橋 瑞貴・林 良子・モクタリ 明子

開会の辞 13:00

【A会場】

関西言語学会大会委員長 定延 利之 (京都大学)

研究発表 I 13:10-15:20

【A 会場】

司会：于 一楽（滋賀大学）

- 1 (13:15-13:50) 日本語における 2 種類の分離動詞の違い
—分離元と分離物の関係および構文的意味について—
王 鈺^{オウ キョク}（大阪大学大学院生）
- 2 (14:00-14:35) Projective Empathy and Attentional Empathy:
The Two Types of Empathy in Cognitive Linguistics
Yusuke Tanaka（Fukuoka University）
- 3 (14:45-15:20) 事柄はどのように言語化されるか
—日本語と韓国語の違いについて—
尹 盛熙^{ユン ソンヒ}（関西学院大学）

【B 会場】

司会：中谷 健太郎（甲南大学）

- 1 (13:15-13:50) 最上級修飾子についての特定化の視点
徐 子程^{ジョ シンテイ}（神戸大学大学院生／博士学生フェロー）
- 2 (14:00-14:35) 動詞 work の様態はどう決まるのか
—訳出された様態に着目して—
出水 孝典（神戸学院大学）
- 3 (14:45-15:20) 軽動詞残余型省略構文 —摘出の可能性の観点から— 【招聘発表】
坂本 祐太（明治大学）

総会 15:25-15:40

【A 会場】

招待講演 15:45-17:15

【A 会場】

司会：定延 利之（京都大学）

音韻システムは数を数えるのか？

—ライマンの法則の研究から再現性の危機問題まで—

川原 繁人（慶應義塾大学）

交流会 17:15-19:00

第2日：6月11日（日）

研究発表Ⅱ 10:30-12:40

【A 会場】

司会：井元 秀剛（大阪大学）

- 4 (10:35-11:10) 感情述語と共起する「無情物+のこと」の使用条件に関する一考察
—学習者の誤用を手掛かりに—

徐 筱琦（関西学院大学大学院生）

- 5 (11:20-11:55) 日本語学習者の添削データからみる文の使用条件に関する一考察
—名詞修飾型と動詞修飾型の「の」の不使用と過剰使用を対象に—

奥中 淳未（関西学院大学大学院生）

- 6 (12:05-12:40) 日本語における伝聞証拠性のマーカーと
「語彙的引用構造」の通時統語論的比較

玉地 瑞穂（神戸親和大学）

【B 会場】

司会：長谷部 陽一郎（同志社大学）

- 4 (10:35-11:10) 現代ロシア語の否定生格を認可する“視点”とは誰のものなのか
木下 蒼一郎（東京大学大学院生／日本学術振興会特別研究員）

- 5 (11:20-11:55) チャハルモンゴル語の声援におけるテキストセッティング

金 正琳（神戸大学大学院生）・田中 真一（神戸大学）

- 6 (12:05-12:40) 音韻構造と音声的外在化 【招聘発表】

那須川 訓也（東北学院大学）

シンポジウム 13:30-16:30

【A会場】

視点とモダリティ —因果関係を含む言語表現を中心に—

司会兼発表：有田 節子（立命館大学）

趣旨説明

有田 節子

「論理文」の時制とモダリティ

有田 節子

理由節の統語構造と意味 —条件節との比較から—

原 由理枝（北海道大学）

「理由」「原因」 —視点現象への統語論的アプローチ—

西垣内 泰介（神戸松蔭女子学院大）

閉会の辞 16:30

【A会場】

関西言語学会会長 藤田 耕司（京都大学名誉教授）

交流会 16:30-18:00

大会委員

定延 利之(委員長)	有田 節子	井元 秀剛	于一楽	大熊 富季子	川原 功司
金水 敏	工藤 和也	杉浦 秀行	杉崎 鉦司	杉村 美奈	田中 真一
鄭 聖汝	中谷 健太郎	西垣内 泰介	長谷部 陽一郎	藤田 耕司	眞野 美穂
山本 尚子	由本 陽子				

オンライン開催実行委員

杉浦 秀行	于一楽	杉崎 鉦司	田中 真一
-------	-----	-------	-------

事務局

寺田 寛(局長)	清田 朗裕
----------	-------